

令和3年度 林業普及週間現地情報 (10/18～10/22)

森林管理課

マツ材線虫病診断のためのサンプル採取

10月20日 (水)

令和3年10月20日(水)、沖縄県八重山農林水産振興センター職員は、石垣市職員とマツ材線虫病の疑いがある枯れたリュウキュウマツから診断のためのサンプルを採取した。

当該リュウキュウマツは、石垣市職員が発見したものであり、枯れた理由が明白でないため、サンプルを採取し、沖縄県森林資源研究センターに診断を依頼した。診断の結果、マツ材線虫は確認されなかったため、マツ材線虫病以外の原因で枯れたと考えられる。

石垣市内には、収穫期に達したリュウキュウマツの造林地が多数あることから、引き続き石垣市と連携し、被害状況調査を実施する。また、八重山地域はマツ材線虫病未発生地域であるため、竹富町及び与那国町へもマツ材線虫病の見分け方、サンプル採取方法の指導を行い、万が一、発生した場合でも早期発見、防除できるよう普及指導に取り組む。



写真1 枯れたリュウキュウマツ



写真2 サンプル採取方法指導

(報告者：八重山農林水産振興センター 金城(智)、金城(彰))